

# 「野幌森林公園におけるクマゲラ保全活動及び生息環境調査」

(2021 年 野幌森林公園を守る会)

## 事業の概略

野幌森林公園に生息するクマゲラに着目し、毎年3月に市民参加による「クマゲラー斉調査」をはじめ、「クマゲラ・フォーラム」、「クマゲラ写真展」などの保護および普及啓発活動を行っている。他方、実際に森を利用する人々は「クマゲラの生息や保護についてどのように思っているのだろうか、また森を利用する上での意識はどうか」などの基本的な意識や考え方を確認しておくのも大切なことである。また同時に、クマゲラの棲む森には巨樹・巨木が存在し奥深い森の印象があるが、そうした森の環境は本種の生息においてどう関わっているのかも知りたい魅力である。

今回は、「野幌森林公園におけるクマゲラ保全活動及び生息環境調査」を事業に立ち上げ、いつものクマゲラ確認調査とは違ったアプローチより、①野幌森林公園の自然環境の保全と利用のあり方に関するアンケート ②クマゲラ写真展 ③野幌森林公園におけるクマゲラ生息環境と巨樹・巨木 の3件について取り組み、クマゲラ保護と生物多様性保全につながる内容を目指した。

### ① 野幌森林公園の自然環境の保全と利用のあり方に関するアンケート

野幌森林公園を利用に関する意識等については、訪れる人々の目的は様々で散歩や森林浴など健康志向の中高年から、バードウォッチング、植物観察、ジョギング、観光・ハイキングのほか、マウンテンバイクなどでのスポーツ利用などと続いており、利用パターン（どこから、誰と、移動手段、回数など）もそれぞれに異なっていた。

また、天然記念物クマゲラの認知度や保護については比較的好感のもてる回答にある一方で、昨年78年ぶりのヒグマ出没の関連での設問では、恐怖感もあつての分かれた回答がみられている。設問のあり方により個人の意識や見解に相違があるなど、あらためてアンケート設計の難しさを実感した。

今回は、公園利用の現状およびクマゲラ保護における基礎的な情報を得ることはでき、今後の活動等の励みとなったが、長期的な視点での取り組みの必要性を認識した。

### ② クマゲラ写真展

当会35周年を迎えた平成30年（2018年）からクマゲラ写真展を行っている。野幌森林公園の象徴としてのクマゲラをもっと知ってもらいたいと同時に、本種を守る活動を通じて生物多様性保全の推進が図られることに期待をして、今回は3回目の開催となる。

写真展は、クマゲラに特化した珍しいイベントであり、個々の写真にはテーマの

ほか、撮影の思いやエピソード、コメントなどが添えられており、クマゲラの生態や行動のイメージも表現され、楽しく観覧できるとの好評を得た。今後もさらにクマゲラの写真展を通じて知識向上と保護活動につながることに期待している。

### ③ 野幌森林公園におけるクマゲラ生息環境と巨樹・巨木

野幌森林公園における森の巨樹・巨木を調査して、現存植生や地形等の関連データと照らしつつクマゲラ生息環境を把握したい。これによって、クマゲラの生態および保護においての広域で広汎なデータベース構築につなげたいと考えている。

本調査では、公園全域の調査結果には及ばなかったが、巨木は合計 419 本を確認した。そのうち、カツラとミズナラで約 7 割を占めていた。

クマゲラが棲める環境は、ただ単に営巣木や餌となる木々があるだけではなく、巨樹・巨木のある森林の存在も重要な環境要素であると考えており、それらを検証できるデータの蓄積が必要であると考えている。

本調査は、森林公園の広さと意外にも多い巨樹・巨木、それに地形のアップダウンおよび笹藪の密集など、調査を阻む困難さをまさに体感させられたハードな調査であった。結果として公園全域のデータを取得するにはもう少し時間はかかるが、引き続きそれらを乗り越えて価値ある資料の整理・解析に臨みたい。

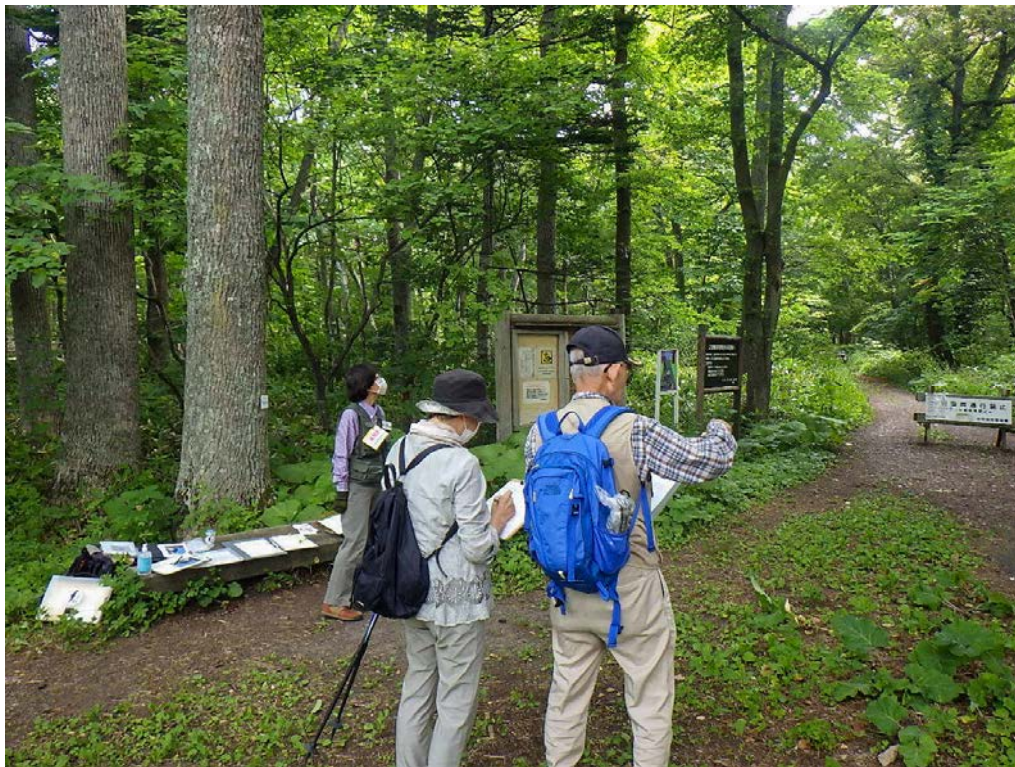


写真1 アンケート調査状況



写真 2 巨木調査風景

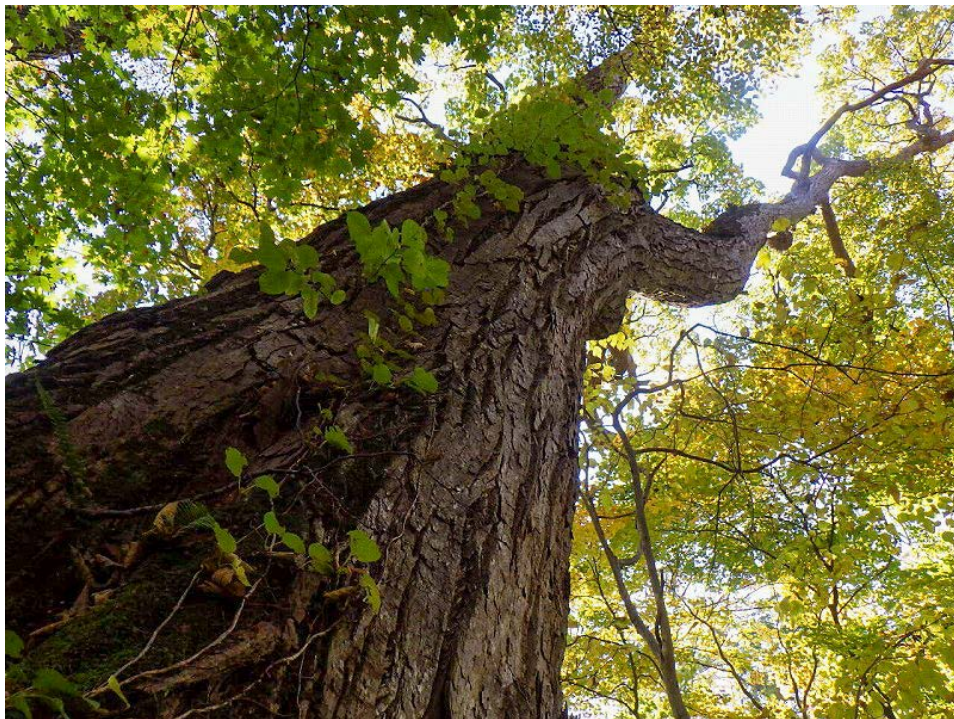


写真 3 野幌森林公園の巨木